



図1 新聞連載教説『家康(不惑篇)』



図2 新聞連載小説『家康(知命篇)』



図3 新聞連載小説『家康(不惑篇)』



図4 新聞連載小説『家康(不惑篇)』



図5 新聞連載小説『家康(不惑篇)』



図6 新聞連載小説『家康(知命篇)』



図7 新聞連載小説『家康(知命篇)』



図8 新聞連載小説『家康(知命篇)』



図9

ダンボールに描かれた下絵。これをスキャニングしてパソコンに取り込み、Photoshopにて着彩を施す。



図10

イベントの様子。永井は「僕は、信長のことを「のぶりん」と呼んでいます。安部さんの小説に出てくるのぶりんは、神経質なイメージがあります。荒々しい信長ではなく、繊細で神経質なイメージに仕上げたいので、賢くて色白、日焼けしてない肌色にしていきます。一方、家康の肌はちょっと浅黒い感じにしていきます。これで、2人の人物の肌の色から、キャラ設定というか、色付けが決まりました。人物の性格や人間性を考え、イラストを仕上げてゆくと、絵の中にコントラストが生まれます。」などと制作秘話やイラストのこだわりなどを話し、終始楽し気に実演を行った。